第30号　平成29年３月１日発行

2016
11月定例会
NO.30

まつえ
MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

変貌をとげる大庭のまち

出雲国庁跡

山代郷正倉跡

国宝　神魂神社本殿

平成の松江風土記 15

古代出雲の政治の中心地　大庭

古代出雲の国庁跡や山代郷（やましろのさと）正倉跡などがある八雲立つ風土記の丘や、国宝の神魂（かもす）神社を擁す大庭地区。「神々が政（まつりごと）をする地」との謂（いわ）れが残る地区である。

古代出雲の政治の中心地でもあり、壮大な出雲歴史ロマンの舞台である。

発行・松江市議会　編集・議会広報等特別委員会

11月定例会

平成28年11月30日～12月19日

農業委員などの定数を定める条例制定ほかを可決

11月定例会は、一般会計2件、特別会計10件、公営企業会計10件、計22件の平成28年度補正予算案のほか、条例案件16件、一般案件11件など議案49件、人事案件28件を審議し、全て原案可決・同意しました。また、議会からは議員提出案件2件を提案、審議し全て原案可決しました。

一般質問には13名の議員が立ち、新松江市総合計画、福祉、教育、農業に関することなど、さまざまな分野で論戦をくり広げ、市長及び執行部の見解を問いました。

平成28年度補正予算（主なもの）

一般会計　17億7,567万円の補正（補正後の総額998億1,097万円）

・鉄工団地用地取得費	2億　663万円	
・担い手確保・経営強化支援事業費	1,287万円	
・サテライトオフィスモデル事業費	2,500万円	
・保育所施設整備補助、防犯対策整備事業費	2億8,239万円	
・エネルギー構造転換理解促進事業費	1,500万円	など

特別会計　1億2,428万円の補正（補正後の総額507億9,240万円）

・国民健康保険事業	8,014万円	
・介護保険事業	820万円	
・簡易水道事業	▲1,242万円	など

公営企業会計　▲1億7,602万円の補正（補正後の総額426億6,198万円）

・水道事業	▲7,117万円	
・下水道事業	▲2億8,771万円	
・交通事業	4,299万円	
・病院事業	1億4,023万円	など

〈北殿町惣門橋通り〉

条例の制定・改正（主なもの）

松江市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員会の委員の選出方法が変更となること及び農地利用最適化推進委員が新設されたことに伴い、その定数を定める条例を制定する。

松江市景観条例の一部改正について

景観計画重点区域に「北殿町惣門橋通り景観形成区域」を指定することに伴い改正する。

松江市火災予防条例の一部改正について

消防法、消防法施行令、消防法施行規則及び松江市火災予防条例の消防用設備等の規定に違反する防火対象物について、その違反内容等を公表するために改正する。

〈消防用設備の点検〉

市政のここが聞きたい　13人の議員が質問

11月定例会　一般質問

11月定例会では、12月5日から12月7日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問した議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

森脇　勇人（松政クラブ）

・防災対策について
・境港出雲道路について
・支所と公民館について
・松江市のまちづくりについて
・城山北公園線について
・地域の根本であるコミュニティーの維持、再生と行政の役割について

質問　線引きを残しながらのまちづくりは

立地促進計画を立てようが、開発計画を立てようが、権限が市長に移ろうが、線引き制度を維持する限りは市長自ら拠点などの開発はしないと言っているようなものであり、国は許可を出さない。線引きを残しながらどのようなまちづくりを行うのか伺う。残すべき守るべき農地はどのようなものでどんな政策をおこなうのか。

回答　今後線引き制度の是非について検討

どうしたら持続可能なまちづくりが可能なのか考えていく必要がある。線引きを残しながらということになると限定的になってしまう。新たな生活利便施設を造れば既存の地域での人口減少につながる可能性がある。今後線引き制度の是非についても検討をしていく必要があると思っている。残すべき農地は具体的には、4220ヘクタール、集落営農の組織化、法人化を推進し中山間地域の補助事業を活用し維持保全を図りたい。

会派代表質問

川島　光雅（真政クラブ）

・この任期の総括について
・次年度の予算編成対応について
・新総合計画の取組みについて
・公共施設の適正化について
・救急消防隊の外国人対応について
・マイナンバー申請の強化について
・米の生産調整終了後の対応について
・原発放射性廃棄物の処分について

質問　原発の中間貯蔵・最終処分場の科学的有望地に指定された場合の対応は

11月に全国原子力発電所立地議会サミットに出席した。玄海町や六ヶ所村の議員から中間貯蔵や最終処分地に対する受け入れに前向きの意見があった。国は平成28年中にその科学的有望地を提示すると言っているが松江市が指定された時の対応を伺う。

回答　最終処分地を引き受けることは到底考えられない

残すところ1ヶ月足らずでその計画は遅れている。使用済み燃料は一定の時間が経過したものについては外に出してもらうことが必要である。原発を長年引き受けてきて、さらに最終処分地を引き受けることは到底出来ない相談だと思っている。これらの問題は国の責任において前面に立って取り組んでいただきたい。

会派代表質問

川井　弘光（市民クラブ）

・自由貿易体制の進展による自治体への影響と対策
・介護保険事業
・女性職員の登用促進策
・総合文化センターの整備と活用
・市立図書館の充実

質問　今後最も重要な課題は何か

今後急激に増える高齢者のための介護サービスを、質・量ともに確保する上で何が最も重要な課題なのか。入所施設の確保、とりわけ低所得者向け施設の不足を解消すべきだが、施設整備の今後の展望を問う。

回答　入所施設・介護人材の確保と介護予防

核家族化が進み独居高齢者の増加も見込まれる中、一定の入所施設整備が必要。一方で、松江市では介護関連の求人に対して30.2%の求職者しかいない状況であり、介護人材の確保が大変重要な課題。やはり介護職の処遇改善が必要であり、国に対し市長会を通じて要望もしている。また、介護予防が大変重要だと思っている。

特別養護老人ホームの待機者は現在287人であり、必要性は依然として高い。今後も、待機者のニーズに沿った施設整備を行っていきたい。

会派代表質問

篠原　栄（公明クラブ）

・松江市総合計画について
・市政全般について
・水道管老朽化問題について
・教育と教育環境について

質問　地熱エネルギーの活用調査と今後の取り組みは

地熱エネルギー活用の調査事業が資源エネルギー庁に採択された。全額補助の1,500万円。事業の説明と今後の取り組みについて伺う。

回答　温泉水発電と温泉熱を活用した事業を調査検討する

国において原発依存度の低減の方針のもと、事業費補助金が創設された。市には豊富な温泉資源がある。まず今年度は、地熱資源がどこにどの程度あるか、また、泉源の成分調査など行う。想定される取り組みは、温泉水による発電、温泉熱を利用した農業ハウスなどである。また、来年度以降は水力活用のエネルギー構造転換への取り組みも進めたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

会派代表質問

片寄（かたよせ）　直行（なおゆき）　（共産党議員団）

・市長の政治姿勢
・原発・エネルギー問題
・人権施策と教育
・**国民健康保険**

質問　国保財政支援の削減に反対の意見を

安倍内閣の進める医療保険改悪は、医療費適正化計画による給付費削減、地域医療構想による病床削減などの権限をすべて都道府県に集中し、強権的に進めるものという指摘もある。新聞報道では、2017年度分の国保への国の支援3,400億円のうち、数百億円を減額すると伝えられている。財政支援は都道府県化の前提条件だったはず。国に対して削減は約束が違うと主張し、反対することを求めたい。

回答　国の財政支援、確実に実行をと要請

国の財政支援削減に反対をすべきとのこと。ご指摘のとおり、我々は国保への国の財政支援については、6月および11月に国に要請している。このたびの報道を受けて、11月24日に全国知事会長、全国市長会長、全国町村会長の連名により、財政支援の拡充を確実に実行するよう要請をしたところだ。

野々内（ののうち）　誠（まこと）　（松政クラブ）

・合併5年を経過した東出雲町の課題
・鳥取県中部地震を教訓とした市庁舎の備えについて
・イングリッシュガーデンをアイリッシュガーデンにすることについて
・エネルギー構造転換理解促進事業
・**児童虐待の防止への対策とひとり親への支援策について**

質問　保育所入所への特別な配慮が必要だ

児童虐待は日中だけでも一時期親子を離すと改善するという。虐待認定を受けた児童の保育所入所の際の基準点加算の考え方、保育所入所への配慮の考えを伺う。

そして、ひとり親の就労のための保育所入所への配慮や、発達障がい等の児童の診断書がある場合には特別の配慮が必要ではないか。

回答　新年度入所分から見直しをしたい

虐待防止の支援が必要と認められた場合の保育所入所には特段の配慮が必要と考えており、入所の優先順位を高めるべく平成29年度の入所分から選考基準指数を見直している。また、ひとり親世帯も保育所への入所の必要性は高いと考えており、選考基準指数を一般家庭と比べて加点している。発達障がい等の診断書がある場合や障がい児のいる世帯についても、平成29年度入所分から基準指数を加点して対応している。

柳原（やなぎはら）　治（おさむ）　（松政クラブ）

・**松江市土地改良区の支援について**
・農業政策補助事業に対する市の対応について
・有害鳥獣被害問題について
・文化財センターの設置について

質問　土地改良区の役割と支援は

土地改良区の果たすべき役割を適切に発揮していくために、土地改良区の持続可能な運営体制を維持し、土地改良事業の適切な実施を推進することが重要であると考える。松江市の具体的な支援は。

回答　土地改良区の維持存続を図る

土地改良施設は、豪雨時には農地はもとより、一般の住宅地などを洪水被害から守っている。単に農業というだけでなく公的な面での役割も非常に大きい。また、農業が直面している状況について、後継者や担い手を育て、儲かる農業に向け6次産業化を推進し、農家の所得向上に向け夢のある農業を打ち出していく。改良区の立て直しには、農家負担の軽減と施設の維持管理事業の拡大が必要と思う。支部活動あるいは事務局の運営助成や組織体制の整備、人件費支援を行う。事業実施に伴う事前調査費、これに伴う地元負担の軽減も行う。

貴谷（きたに）　麻以（まい）　（真政クラブ）

・**保育園の待機児童の状況と整備計画**
・児童クラブの状況と今後の整備計画
・高齢者福祉施設の状況と今後の整備計画
・原子力防災と避難計画
・組織改革・議会改革

質問　働く女性の支援のため、保育園の待機児童解消を速やかに行って欲しい

働く女性の支援が緊急に必要である。現在、0歳の待機児童が200人近くに上る。保育園入所の待機状況、整備の計画、見通し、夜間や緊急時の保育について伺う。また申し込みのホームページ表示を利用者目線で改善して頂きたい。

回答　定員増に努める

平成28年度当初には22名の待機児童が発生し、その後も増加している。喫緊の課題として、保育所の定員増に努めていく。認可の夜間保育は一カ所あり、45人が利用、認可外保育施設にも財政支援を始めたところである。又、緊急時の保育であるショートステイ、トワイライトステイは、現在、松江赤十字乳児院へ委託しているが、3歳以上の預かりについては、他施設と協議中である。ホームページ上の予約枠の表現は、一層改善に努めたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

長谷川修二（はせがわしゅうじ）　（公明クラブ）

・災害時の復興・復旧体制と避難行動計画について
・高齢者への見守り策について
・アルツハイマー病を克服するまちづくりと生産年齢人口減少に対するまちづくり
・農業振興策について
・河川の保全対策について

質問　生産年齢人口減少社会の問題をどのように総合計画に反映されるのか

2025年以降、極端な逆ピラミッド型になる人口構造について、出来るだけ生産年齢人口を増加させることが求められる。松江市において生産年齢人口減少社会の問題を、どのように総合計画に反映されるつもりか伺う。

回答　新たな総合計画は人口ビジョンと総合戦略をベースに策定を進める

新たな総合計画は、人口ビジョンと総合戦略をベースに策定を進める。逆ピラミッド型の人口構造を、出来るだけ長方形のものにするために、自然増を図っていくことと、直近1年間で40人増となった社会増の要因を分析し、今後の対応を考えていく。

吉儀　敬子（よしぎ　けいこ）　（共産党議員団）

・就学援助の入学準備金支給時期の改善を
・学力テストの中止を
・松江市総合福祉センターの温泉施設改修について
・市民の移動権を保障する立場で公共交通網の見直しを

質問　総合福祉センターの温泉施設の改修を

松江市総合福祉センターの温泉施設は、いつになったら利用できるのかという声をたくさん聞いている。この間何件の問い合わせがあり、施設の利用者は何人か。65歳以上は100円で利用でき、高齢者の楽しみの場となっている。金をかけずに早期に修繕して、「早く利用できるようにして欲しい」と利用者から切実な要望が出されている。

回答　市社協と協議し専門業者と検討中

10月20日にボイラーが故障し、温泉施設の営業を休止している。問い合わせは、11月29日までに768件である。平成27年度の利用者は、3万7,326人、1日平均127人であった。福祉センターは、昭和60年に財団法人松江市福祉事業団が開設し、平成20年に事業団解散後、市が引き継ぎ管理運営を市社協が受託。今後の対応について市社協と検討している。

新井　昌禎（にいい　まさただ）　（友愛クラブ）

・貸困対策について
・働き方改革について
・共創のまちづくりの進め方について

質問　市民意見を集約するための電子アンケートシステムを導入することについて

「共創のまちづくり」を進めていくためには、様々な場面で市民説明会や市民アンケートを実施し、意見を集約する必要がある。各種情報端末機を活用した市民意見のデータベース化やより多くの市民に対して実施できる電子アンケートシステムを導入することについて伺う。

回答　県と県内市町村で運営している電子申請サービスを積極的に活用したい

現在、伺います係で受け付けた市民からの意見やパブリックコメントおよびアンケート結果等については、ホームページに掲載し公表しているが、データベース化は行っていない。また、電子アンケートシステムの導入については、県と市町村が共同で運営している電子申請サービスを活用することで実施できる状況にあるので、このシステムを積極的に活用していきたい。

芦原　康江（あしはら　やすえ）　（無会派）

・島根原発再稼働に関する判断基準の明確化について
・性的少数者の人権擁護と差別のない社会に向けた施策について
・不登校の子どもに対する支援について
・避難所運営マニュアルについて

質問　不登校の子に、学校を休んでいいことと不利益を受けないことを保障すべき

不登校のきっかけは、学校が認識する以上に学校の教育環境に起因している場合が大きい。いじめられても我慢して学校に行き続けた結果、命を絶つケースもあり、不登校は最悪の結果からの脱出口とも言える。子どもたちに学校を休んでもいいということを明らかにし、不利益を受けないことを保障する必要があるのではないか。

回答　学校への登校のみが目標でなく、社会的な自立を目指す必要がある

不登校の子どもに対する支援の視点として、学校に登校するという結果のみを目標にするのでなく、子ども自らが自分の進路を主体的に捉えて社会的に自立していくことを目指す必要があると思っている。また、場合によっては、不登校が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがあると考えている。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

橘（たちばな）　祥朗（よしあき）　（共産党議員団）

・中海における水上飛行機問題
・消防署所再編の現状と救急体制
・八束福祉総合センターの今後は
・水道事業統合による料金問題
・美保基地問題

質問　再編後の救急体制など、現状はどうか

消防署所の再編により、周辺部では救急車の到着の遅れを指摘する声があるが、到着時間、救急救命士の配備の現状、救急患者の搬送状況はどうか。

救急出動は増加しているが課題はないか、消防団の現状はどうか。

回答　救急救命士の確保に努め、適切に対応

救急車の到着時間は全市平均では遅くはなっていない。救急救命士の搭乗で救命率は向上している。平成27年中の搬送人数は7,616人で95%を市立、日赤、生協の3病院に搬送、「たらい回し」の事態は発生していない。救急救命士は平成32年度までに60名の配備計画で現在53名、引き続き確保に努める。

救急出動件数は年々増加しているが、適切に対応していく。消防団の充足率は93.4%、昼間の災害活動が難しく事業所の協力、女性、学生の入団を図る。

2月定例会日程

月	日	曜日	会議名
2	22	水	本会議（会期の決定、提案説明）
	27	月	本会議（一般質問）
	28	火	本会議（一般質問）
3	1	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	2	木	予算委員会（質疑、分科会分担・委託）
	3	金	総務委員会・予算委員会総務分科会 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	6	月	総務委員会・予算委員会総務分科会 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	7	火	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	8	水	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	13	月	予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
	16	木	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

議会事務局 TEL 55-5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

請願や陳情は誰でも出すことができます

請願・陳情とは

市民の皆さんが日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に出すことができます。これを請願・陳情といいます。議員の紹介があるものが請願、ないものが陳情です。

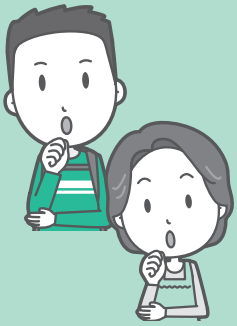
議会に出された請願・陳情は、所管の委員会で審査され、その後本会議で採択か不採択かが最終的に決められます。ただし、陳情の場合、内容によっては、議会運営委員会でその取り扱いを協議する場合があります。

本会議で請願・陳情を採択すると、関係機関に意見書を提出したりします。審査結果は、請願・陳情者に通知しています。

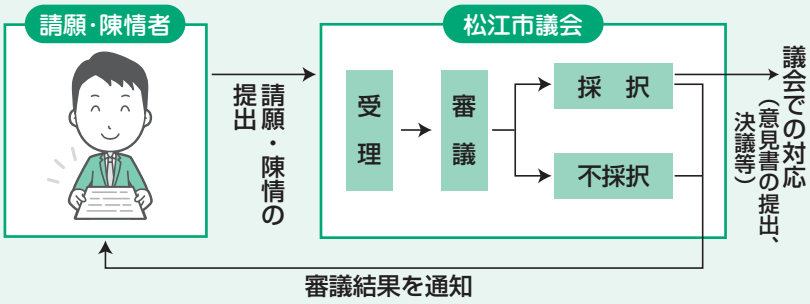
請願（陳情）書の様式

【表紙】
請願（陳情）書
件名○○○○○
紹介議員
○○○○ 印
請願書のみ必要

【本文】
1 件名○○○○○
2 要旨○○○○○
3 理由
（添付書類・略図・署名簿）
平成　年　月　日
松江市議会議長
○○○○様
請願（陳情）者
住所
氏名○○○○ 印



請願・陳情の審議の流れ



※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

議員が行う「一般質問」とは

一般質問とは

議員が、定例会において市長など執行部に対して、市の行政全般にわたり、事務の執行の状況や将来の方針について質したり、報告や説明を求めるものです。

一般質問の仕組みは

執行部は、通告の内容について議長から通知を受け、責任の持てる的確な答弁の準備をします。

議員は、一般質問の当日には、通告に沿った質問を行ないます。答弁に対して再質問もできます。

執行部は市の立場を明らかにし答弁を行うとともに、議員に対する質問もできます。

松江市議会での決まりは

通　告

あらかじめ質問の要旨を知らせる通告制を採用しています。正式な場での発言であることから、議員と執行部双方は十分な準備を必要とするためです。

質問の種類

会派を代表して行う「代表質問」と各議員が独自の立場から行う「個人質問」があります。

質問方式

全ての質問をまとめて行い、それに対してまとめて答弁を行う「一括方式」と質問と答弁を交互に行う「一問一答方式」があります。

質問時間

議員一人当たり、年間最大80分と定め、一定例会の質問は30分以内としています。執行部の答弁時間には制限がありません。

議員の仕事は市政・政策のチェックや提言などですが、一般質問は、その仕事の一環として政策論議が行える意義のある発言の場であり、市民からも重要な関心と期待を持たれる大切な議員活動の場でもあります。そのため、各議員は日常の活動のなかで、質問への力をつけるよう努力しています。

一般質問の内容はここで分かります

一般質問通告事項は質問日の前日までに、議会ホームページ、ケーブルテレビのデータ放送でご覧いただけます。また、一般質問の様子はケーブルテレビで生中継（18時から再放送）しており、定例会終了後には、議会ホームページで音声を聞くことができます。

●議員提出議案

件　　名		結　果
議員提出議案第11号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第12号	奨学金制度の拡充を求める意見書について	原案可決（全員）

「第10回全国原子力発電所立地議会サミット」に参加

島根原子力発電対策特別委員長　立脇　通也

11月10日（木）から11日（金）の2日間にかけて、「第10回全国原子力発電所立地議会サミット」が「日本におけるこれからの原子力政策のあり方～原子力発電を将来世代にどう引き継ぐか～」をメインテーマに東京で開催され、松江市議会からは議長をはじめ、島根原子力発電対策特別委員会の委員など総勢15名の議員が参加しました。

1日目は、基調講演、分科会が行われ、5つの会場に分かれて開催された分科会では、近年、全国的な関心が集まる原子力発電所の再稼働問題や老朽化した原発の廃炉に関する問題、また原子力防災体制の確立や立地自治体の地域振興などの課題に関し活発な議論、意見交換が行われました。

2日目は、各分科会からの報告を受けた後、原子力発電の安全性の確保に国が着実に取り組むことや、使用済核燃料の処分などに係る諸課題についても国がしっかりとしたビジョンを国民に示すよう求めることなどを確認する立地議会サミット宣言を採択して、閉会となりました。

〈NPO法人国際環境経済研究所　竹内純子氏による基調講演〉

高齢社会対策について学ぶ ～松江市議会議員研修会～

11月18日（金）、松江市議会基本条例に基づき、議員の政策形成及び立案能力の向上を図るため、平成28年度松江市議会議員研修会を実施しました。

「高齢社会対策について」と題して、国の検討委員会にも参加している、永翁幸生（ながおさゆきお）・NPO法人全国保険者機能評価機構理事長を講師に招きました。永翁氏は、高齢化社会における今後の介護保険を取り巻く状況、介護保険制度の改正による新総合事業移行にあたっての課題と対応、及び国における国保改革の検討状況などについて、厚生労働省などの豊富な資料を紹介し、「地方創生」など国の施策に合わせ、松江市として事業計画を進めるように提言されました。

介護保険制度も16年を経て、サービスの維持と負担との関係がこのままで良いのか大きな課題となっています。社会保障制度に対する国の役割を強く求めていく事と同時に、高齢化社会の中で地方や地域での対応をしっかり検討していく必要を強く感じさせる研修会でした。

〈講師　NPO法人全国保険者機能評価機構理事長　永翁幸生 氏〉

松江市長・松江市議会議員選挙４月１６日（日）投・開票

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいております。

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電　　話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/

編集後記

日本全体で少子化が進む中、各地方自治体は、実効性のある人口減少対策に取り組んでいますが、自然増よりも社会増が重要になります。そのためには、市民が幸せを感じ、安全に安心して暮らし、愛着と誇りを持つことが必要だと思います。

議会は、市民を代表する機関であり、各定例会での活発な論議により議決した内容を分かりやすくお伝えするため「市議会だより」を編集・発行しています。是非、ご一読いただき皆さんのご意見をお寄せください。

議会広報等特別委員会委員　新井　昌禎